

平成28年4月16日（土）の「仏教女性の集い」

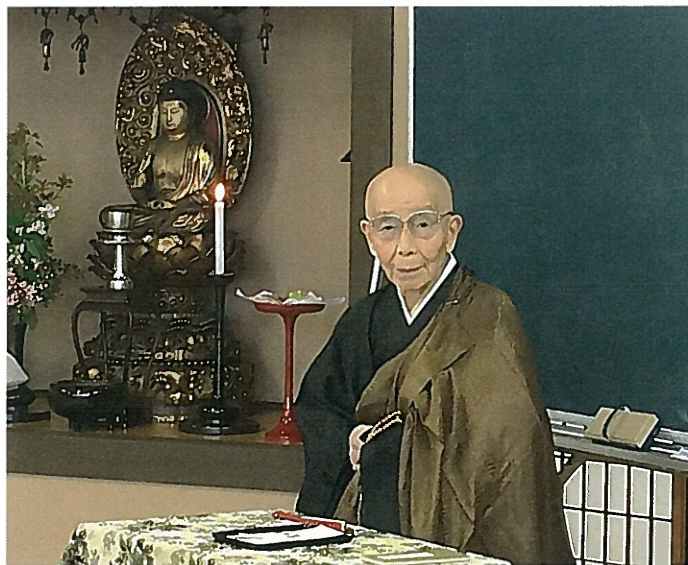
阪神大震災を髣髴とさせる熊本県地震が発生した日ですが、日中の京都は外に出れば汗ばむほどのよい天気でした。

本日から『佛遺教経（ゆいきょうぎょう）』（鳩摩羅什* 訳）のお話に入りました。



序文はお釈迦さまが救済するべきものたちを救済し終えて、涅槃に入ろうとする静まり返った中、弟子たちに改めて説法を始められたというくだりからです。

続く段では「戒」は安穩を得るための根拠である、ということについて触れられています。多くの欲望を持たず、「戒」を守ることによってこの世の苦しみを滅し去るための智慧を得ることができ、出家者は節度ある行動、食事を堅持し、清廉な生活を送ることと説いておられます。すべての生産活動や収益活動は欲につながるためそれを慎み、世俗的なことに関わらず、常に心を正し、悟りを求めることが重要であるということです。



《近藤先生はこの春、浄土宗功労賞を受賞されました》



《今月のお菓子 岩つつじ 》

何事においても、適量（修行に最低限必要な）だけを受けとる、すなわち必要以上のものを持たないという教えは、一般社会における私たちにも大いに関係することかもしれません。私も、様々な欲にまみれているゆえに、いろんなことに悩まされているのかもと、今日のお話を拝聴しながら反省しておりました。

（参加者感想 M. T）

次回の「仏教女性の集い」は平成 28 年 5 月 21 日です。

「仏教女性の集い」は毎月第 3 土曜日、1 時～4 時

参加費 1,000 円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ 150m

『吉水尼僧庵』（旧尼僧道場）で開催致しております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで



「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。